

小笠原諸島世界自然遺産推薦地の概要

1. 推薦遺産名：

小笠原諸島

2. 推薦地：

東京都小笠原村の良好な自然環境を有する以下の地域

○推薦区域	○面積
むこ ・ 聶島列島、父島列島（父島を除く）、 母島列島（母島を除く）の全島	陸域 約 6,360 ha 海域 約 1,580 ha
・ 西之島、北硫黄島、南硫黄島の全島 ・ 父島及び母島の一部 ・ 父島及び母島周辺の一部の海域	計 約 7,940 ha

3. 共同推薦省庁：

環境省、林野庁及び文化庁

4. 自然環境の特徴：

- 海洋性島弧の進化の過程を、陸上に露出した地層や岩石から解明することができる。
- 隔離された環境下で様々な進化をとげて多くの種に分化した生物から構成され、固有種率が高い生物相を有する。
- 固有種や世界的に重要とされる絶滅のおそれのある種の生息・生育地として、北西太平洋地域における生物多様性の保全のために不可欠な地域である。

5. 世界自然遺産としての価値（IUCN 評価）：

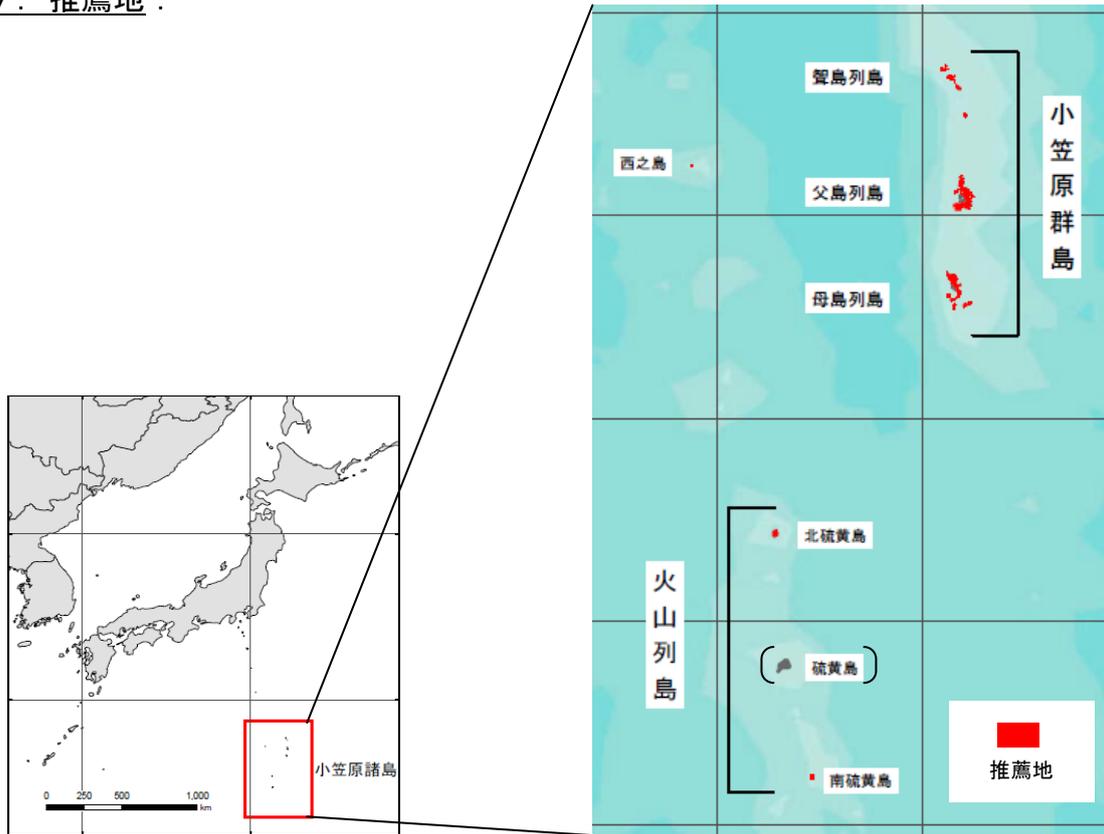
- 世界遺産委員会の諮問機関である IUCN により、以下の登録基準で世界自然遺産に登録することが適当と評価された。

登録基準	評価の内容
ix 生態系	小笠原諸島は、海洋島の生態系に特有の生物進化の様子をよく表しており、陸産貝類と維管束植物において極めて高い固有種率を示している。

6. 保護管理：

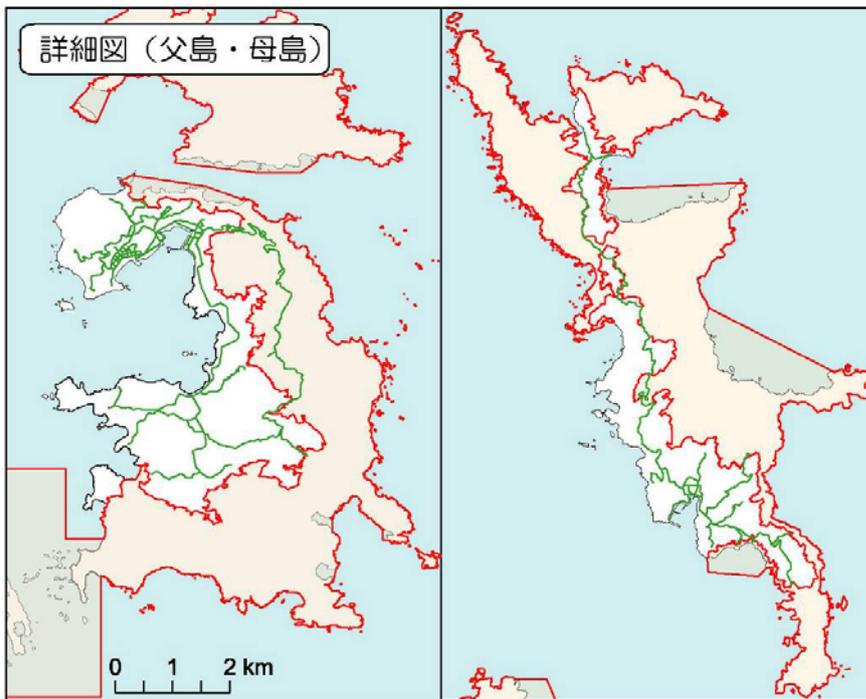
- 国立公園、原生自然環境保全地域、森林生態系保護地域、天然記念物などの保護区制度等により適切に保護する。
- 管理計画に基づき、関係機関が連携し、外来種対策をはじめとする保全管理対策を推進する。

7. 推薦地：



広域位置図

推薦地 (広域)



凡例

推薦地

車道